



第15号

高知県立高知国際中学校だより

高知県立高知国際中学校

〒780-8052 高知県高知市鴨部2丁目5番70号

よい春休みを送りましょう 校長 森本民之助

うす曇りの中でふと北山を見ると、そのところどころにポツポツと薄い桜色が現れています。普段は分からないのですが、そこにさくらの木があることが分かります。さくらという言葉には「さ」神様、「くら」座座という意味もあるようですので、まさしく春となり、いくつかの座に神様がお座りになられたような賑わいを感じます。また、季節の移り変わりとともに人の成長が感じられることも嬉しく思います。春休みの次には新しい年度が始まりますが、一人ひとりの中でも、成長はいつも一定の速さで進んでいるわけではありません。大きく伸びるときもあれば、伸びるのを控えてぐっと基礎を固めているときもあります。成長を竹に例えると、どんどん伸びる部分と節の部分があり、伸びる部分だけだと強さが不足するし、節だけだと大きく伸びることがありません。この2つの部分がバランスよくあることで、強く、しなやかに、そして高く伸びるのです。

学校の教育活動の大きな周期に1年があり、年度が変わる春休みはその大きな節目です。この1年の節目である春休みを、伸びる部分として捉えるか、節の部分として捉えるかは自分次第です。自分の成長を実感し、今、どちらがいいのか考えるとよいでしょう。そして、本校は次年度から2学期制になり、1年の中で節目となる学期の期間が変わります。学期の期間が変わったとしても節目を上手く使って自ら成長する力を付けたいいなと思います。

春休みを、自分を見つめ直すとともに学びと生活とを意欲的なものとして、次年度への弾みにいたしましょう。気持ちをふっと落ち着けると、考えを一新する幸運なひらめきが舞い降りることも多いです。新たな年度になって大いに成長している姿を見ることがとても楽しみです。くれぐれも事故や事件に遭わないよう気を付けてお過ごしください。何事にも油断なさらぬよう。



第一回高知国際中学校卒業式 答辞

暖かい陽の光が降り注ぐなか、桜のつぼみも膨らみ始め、少しずつ春の訪れを感じる今日、私たち高知国際中学校一期生は卒業の日を迎えました。本日、この日を迎えられたのは、これまで指導してくださった先生方、ご来賓の皆様、そして保護者の皆様のおかげです。本日は、お忙しい中、私達のためにご臨席くださり、心より感謝申し上げます。

三年前、私たちは一期生として入学しました。真新しい学校を見ながら、自分たちがこの学校を一から作り上げていけるという希望と同時に、沢山のことを自分たちが決めていかなければいけないという責任の重さと不安を抱いていました。

高知国際中学校の授業で一番衝撃を受けた事は、授業中に生徒の会話をとおして授業が進んでいくということでした。生徒が積極的に発言を行い、意見が出しやすい雰囲気の中で授業が進んでいくという事が、新鮮でした。このような授業スタイルを積み重ねてきた事で、物事を決めるときや、企画を立てるときにスムーズに話し合いができるようになっていったと思います。

二年生の秋、私たちは修学旅行で台湾を訪れました。ほとんどの人にとっては初めての海外旅行。通貨の違いや言語の違いに戸惑いをかくせませんでした。けれど、その戸惑いさえも楽しむことができた四日間となりました。グループごとにテーマを設定し、台北101や迪化街に行きました。そこで、「現地の人々は普段どのようなものを食べ、味つけはどのようなのか」「台湾の人々はどのような生活をしているのか」という事を調査しました。また、現地の大学生がガイドしてくれる機会がありました。私たちは毎日英語の授業を受け、勉強してきたつもりでしたが、いざとなると緊張してしまい、上手に話す事はできませんでした。しかしこれは、自分達の実力を知る貴重な経験となりました。

あつという間に時が経ち、私達は三年生になろうとしていました。そんな時、新型コロナウイルスの感染拡大により、私達は突然、新しい生活様式での学校生活を送らなければならなくなりました。ようやく三学年が揃ったものの、全校生徒で行事を開催する事がなかなか叶いませんでした。それでも今年の十一月には、様々な制限のある中で、初めて三学年全員が参加し、文化祭代替行事を開催する事ができました。交流委員会が企画したクイズ。先生方のダンス発表などを通して、生徒や先生方の意外な一面を見る事ができ、私達は楽しい時間を過ごす事ができたのは私達たちにとってよい思い出です。

在校生の皆さん、これから高知国際中学校を盛り上げていくのは皆さんです。先輩として、頼りなかつた部分があったと思いますが、私達はこれからもすぐそばで応援しています。嬉しいこと、つらいこと、不安を感じてしまう時もあるかと思いますが、そんな時は、周りをよく見てください。必ずあなた方を支えてくれる人がいます。その人たちへの感謝を忘れず、これからの中学校生活を謳歌してください。



三年生のみんな。あつという間の三年間でしたね。一期生として今までのやり方を知っている先輩がいない中で、乗り越えなければいけない壁がたくさんありました。それでも自分らしさを失わず、お互いを支え合ってここまで来ました。そんな私たちはきっと明日も明後日もどんな高い壁をも、誰かと一緒に乗り越えていけるはず。今までありがとう。これからもよろしくお願いします。

最後になりますが、今まで指導してくださった先生方、私達を支え続けてくれた家族、これまで私達が頑張ってきたのは、皆様が支えてくださったのおかげです。面と向かって言うのは照れ臭くて恥ずかしいですが、この場をかりて言わせてください。「本当にありがとうございました。」

中学校生活を支えてくださったすべての方々にお礼申し上げますとともに、高知国際中学校の更なる発展を願って答辞といたします。

令和三年三月十八日 卒業生代表 三上輝

高知国際中のIBプログラムについて -第4段-



Design 技術分野

技術科主任：白井裕史

デザインの技術分野は、『社会の課題を解決し、生活を豊かに創造していく力を身につける』教科です。言い換えると、社会の課題（グローバルな視点）を生活（ローカルな視点）の中から見出して学んだことを応用することで社会全体を豊かにする学習です。学習は体験しながら学ぶ方法と、経験したことから気付く方法で行い内容を発展させていきます。

1年生の「材料と加工の技術」では身の回りの課題を見つけ（調査・探究）、解決方法を設計し（アイデアの発展）、実際にそれを体験しながら製作し（課題解決）、製品を実際に使ってみて長所や短所を確認し、次の製作に応用する（評価）、という一連のサイクル（デザインサイクル）で学習していきます。今回の課題は「他人のために役立つ製品」です。

2年生は「生物育成」と「エネルギー変換」です。生物育成はデザインサイクルで二十日大根を栽培し、1度目の栽培方法を生かし、2度目の栽培に経験を活かしながら食糧自給率について学びます。エネルギー変換では全国中学生アイデアロボットコンテストの共通の課題解決にそれぞれのアプローチで挑み、効率的なエネルギー利用とトレードオフについて体験的に学びます。

3年生は「情報：プログラムによる計測・制御」で市販の対戦ゲームを調査・探究し、ロボットを使った対戦ゲームを設計し、プログラムで動くロボットを使ったゲームを制作し、実際にゲームを楽しみながら改善点を見つけ、Society5.0の時代の見方、考え方を身につけます。

Design 家庭分野

家庭科主任：前野佐希子

家庭科は、『課題をもって、生活を豊かに創造していく力を身につける』教科です。IBプログラムのMYPの授業では、「Design デザイン」と言います。「デザイン」と聞くと、何となく「ファッションデザインを学ぶのかな?」、「家庭科じゃなくて美術のこと?」といったイメージがあるかもしれませんが、では、何をデザインするのかというと、自分の生活をより豊かにデザインすることになります。人生は、選択の連続です。例えば、今日は何を食べようかなと思った時、お腹が空いているからいっぱい食べたいのか、気分を上げるために普段と違った雰囲気や食べたいのか、安価で時短メニューを作って食べたいのか、「食べる」という同じ行為でも、その時の視点や条件によって必要な費用や時間、空間が違ってきます。この何でもないような選択が、毎日の自分、未来の自分にとってより良いものとなるように、自分で考え、行動し、自分と異なる他者の意見を尊重し、自分にとっての当たり前の生活を問い直していくのが家庭科です。そしてそのことが、家族や地域、社会に広がり、持続可能な世の中になっていくようなものの見方（多角的な視点）をもてるように、様々な活動をとって学んでいきます。



授業中のグループ学習

Mathematics

数学科主任：二宮脩

IBの数学では、公式を用いて問題を解くだけでなく、生徒自身が自分の日常生活（実生活の文脈）から数学がかかわっている要素を発見し、自らが原則やパターン、数学の性質を見つけていくことを大事にしています。本校の数学では実生活での文脈をなるべく扱い、生徒自身が課題解決していくことを大切にしています。なかなか1年生の時点では、生徒たち自身で法則を見出すことや、実生活に関する問題について数学を用いて解決することが難しいですが、3年生くらいになるとグループなどで自分たちなりに根拠を持って、解決することができるようになってきています。以下は、中学3年生の最後に行った授業アンケートの一部です。探究を中心に授業が展開される学習者中心という精神を大事にしつつ、基礎的な知識定着のフォローをどうやっていくのかを教科として引き続き考えていきます。

【中学3年生の声】

- 数学の学習を一言で表すと?

数学とは「パターン」を学ぶもの。
世界の仕組みを知るために?
数学とは「探究」である。(H1=?)
つまづくととてでも奥が深い分野です。
どう向き合うかはあなた次第!!
「7777したものを自分でしっかり意識できようとする。イメージ作って学ぶ。」

- 数学の授業の良い点・改善点

(1) 数学授業改善・良い点

常に探究テーマの転び付や、概念と学びの目的が生徒に明確に提示され
集まりの授業と比べると、単元と学習の「意義」を理解しやすさを感じ
てられる
→ 数学という教科を越えて考え方を学ぶ。
グループが班での勉強・学習では全員の知識を用いて協力することから
できるのが良かった。
改善点は、基礎的な知識が抜けていると何も分からずの2つ、この
カバーをしようというところ。

Physical and health education

保健体育科主任：古屋佑奈

保健体育における学習は「生きる」ことに直結します。本校の保健体育では、「運動することの価値を正しく理解し、評価し、健康な生活を選択することへの動機づけをすること」をねらいとしており、「健康についての学習」と「運動を通じた学習」の両面を大切にしながら学んでいきます。

多様な情報から構成した知識を基に計画し、実践したことを振り返り、改善するという MYP 保健体育の探究のサイクルを辿りながら学びを深めていきます。その中で、仲間と協働したり社会との繋がりを持つことで、学びを深め広げることや、他者を思いやり他者に貢献することを体験的に学んでいきます。考えたことや想像したことを、様々な形で表現し、試し、創造していきます。実践することで、知識の正しさを検証します。

「健康」に生きていくために必要な運動や食事、睡眠等は人によって異なります。運動が好きな人も嫌いな人も、得意な人も苦手な人も、MYP を終了する時にはそれぞれが生涯にわたって健康に生きていくためのノウハウやスポーツの活用について、自分なりの考えやこたえをもつことができることを目指します。



動きを多様な視点で分析する



理解したことを伝え、相互評価する



スポーツを創り、実践する

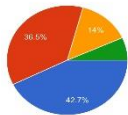


3 学期の行事・活動

総務担当：古屋佑奈

今年度は新型コロナウイルスの影響で、予定していた行事や活動が思うように実施できませんでした。そんな中でも、この状況を踏まえ、活かし、工夫を凝らして実施した行事では、他学年や他校とともに充実した時間を過ごし、それぞれの学びや交流を深めることができました。多くの行事や活動の企画や運営は、生徒が中心となって行われました。

3. 上級生は下級生を取りまわっていますか？
17名 件の回答



● とてもそう思う
● 少しそう思う
● あまり思わない
● 思わない

縦割り掃除

交流委員会が企画した「より質の高い掃除」「結束力と協調性を高めること」を主な目的とした縦割り掃除を 2 週間にわたって行いました。掃除の時間には、3 年生がリードして計画から実践、振り返りまで取り組むことができました。

高知南中学校との交流事業

2 月 18 日(木)には全校で劇団「風」による「星の王子様」の観劇を、3 月 19 日(金)には両校の 2 年生が本校にて本校の授業体験と本校生徒による「高知国際中学校の授業」の説明、情報共有を行いました。3 年にわたって交流を深めてきた両校の 3 年生が、来年度から同じ校舎で学びます。



SA 発表会・PP 構想発表会

3 月 11 日(水)に、全学年による SA(サービス アズ アクション)のポスター発表と、3 年生による PP(パーソナルプロジェクト)の構想プレゼンテーションが行われました。この発表会は保護者シェア会も兼ねて実施され、保護者の方々の会場案内や SA についての説明、発表会全体の企画や事前準備も実行委員会が中心となって進めました。

3 年生を送る会

今まで 1 期生として常に先頭に立って学校を創ってきてくれた 3 年生に感謝の気持ちと思いで出を！ということで生徒会を中心に企画して催されました。1,2 年生の各ホームと教員からのお祝いメッセージムービー、有志によるパフォーマンスが披露され、とても温かく思い出に残る時間となりました。



生徒の活躍

第 44 回全日本アンサンブルコンテスト高知県中部地区大会

金賞代表 小島さん・高橋さん・佐藤さん・久保さん
矢田さん・江口さん・西垣さん
越智さん・馬場さん・武林さん

金賞 中川さん・眞鍋さん・竹森さん・西山さん・楠瀬さん

銀賞 高橋さん・中山さん・寺田さん・三谷さん
行正さん・宮崎さん・森さん

銅賞 福田さん・須内さん・コボさん・田村さん
・高橋さん

第 44 回全日本アンサンブルコンテスト高知県大会

金賞 小島さん・高橋さん・佐藤さん・久保さん
矢田さん・江口さん・西垣さん

銀賞 越智さん・馬場さん・武林さん

第 66 回高知県青少年読書感想文コンクール

入選 加治木さん / 倉松さん

第 60 回 JA 共済全国小中学生書道コンクール高知県大会

半紙の部 佳作 中山さん
条幅の部 銅賞 高橋さん / 山田さん

第 60 回 JA 共済全国小中学生交通安全ポスターコンクール 高知県大会

銅賞 竹森さん

第 71 回子ども県展

条幅の部 推薦 高橋さん
毛筆の部 推薦 三浦さん
硬筆の部 推薦 山田さん / 上岡さん
条幅の部 特選 山田さん
毛筆の部 特選 山田さん / 上岡さん / 中山さん
/ 山中さん
硬筆の部 特選 高島さん

公益財団法人書道芸術院主催第 72 回全国学生書道展 半紙 の部

準大賞 三浦さん

オックスフォード・ビッグ・リード・コンテスト 2020

佳作 日浦さん

高知県児童生徒表彰

スポーツの部 辻本さん / 上岡さん



令和 3 年度 4 月当初の予定

4 月 6 日(火) 始業式・着任式

8:40 旧ホームに集合

8:50 大掃除

9:20 始業式・着任式

※午前で終了、給食なし

4 月 7 日(水) 入学式 ※在校生は代休

4 月 8 日(木) 対面式・新入生歓迎会

4 月 9 日(金) 身体測定

【持ち物・服装】

- ・正装(ネクタイ・ジャケット着用)
- ・筆記用具
- ・ぞうきん 3 枚
- ・体育館シューズ

制服の規程について

生徒指導・サポート部：大崎光峻

上着の件については、高知国際中学校だけでなく高校にも大きく関わってくることもあり、現在も検討中です。ダッフルコートが自転車乗車中に危険であるということに対しては、業者にも相談しながら自転車通学者用の上着も検討しています。既存の校則やルール、服装規定を守れているかなど、生徒の皆さんに自分自身の日頃の姿も振り返ってもらいながら、今後、生徒会とも連携し、中学校生徒指導部を中心に、引き続き検討していきます。

本校は令和 2 年に国際バカロレア機構より MYP 認定校・DP 認定校として認定されました



高知県立高知国際中学校

〒780-0852 高知県高知市鴨部 2 丁目 5 番 70 号

TEL:088-844-1221 FAX: 088-844-4823

URL: <http://www.kochinet.ed.jp/kokusai-jh/>

Email: kokusai-jh@kochinet.ed.jp



高知県立高知国際中学校・高等学校 公式 twitter

<https://twitter.com/kochikokusai>



高知県立高知国際中学校・高等学校 公式 Facebook

@kochikokusai

